



がっこう 学校だより

がっこう
11月号



**Challenge
Dream
Interaction**

れいわ ねん がっ にち
令和4年10月31日
よこはま しりつかみい だしょうがっこう
横浜市立上飯田小学校

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamiida/>

ねんせい あいかわしゆくはくたいけんがくしゅう いんそつ 4年生の愛川宿泊体験学習を引率して

ふくこうちよう なかむら ひさし
副校長 中村 久

10月17日(月)～18日(火)に4年生愛川宿泊体験学習が行われました。子どもたちは、大きな事故もなく、健康で安全に2日間をのびのびと活動することができました。保護者の皆様には、当日までの子どもたちの健康管理、準備・励まし等、ご協力をいただき、大変、感謝申し上げます。

今年度は、6月に6年生の片品・日光修学旅行が行われ、今回は、2つ目の宿泊行事でした。4年生の子どもたちにとっては、小学校で初めてののお泊りであることやコロナ禍のため、学校行事としても昨年度、一昨年度は、日帰りの行事が多く、宿泊行事ができるのかどうか不安が多かりましたが、おかげさまで見事に遂行することができ、子どもたちのきらきら光るさわやかな笑顔に達成感があふれていて、とてもうれしく思いました。次の3つ目の宿泊行事、5年生の御殿場宿泊体験学習(11月1日(火)～2日(水))も大成功できることを願っております。

さて、宿泊体験学習というと、「自然の中で集団活動を通して、仲間と協力し、自分でできる事を進んで取り組み、楽しく過ごす」ということが、大きなめあてです。4年生のスローガンは、「笑顔で走り出そう！いつでもどこでも誰とでも協力し、愛川でしかできない思い出をみんなで作ろう」でした。子どもたち一人一人の具体的なめあては、様々ですが、その中で子どもたちの素敵な笑顔が見られた場面がたくさんありました。その笑顔になるために、頑張っているなあ成長しているなあと感じた子どもたちの3つの力を伝えます。

1つ目は、「自分のことは自分で行う力」です。例えば、自分の荷物を整理する、自分が寝るベッドを整える、食事の後片付けをする、次のプログラムに向けて持ち物を準備する、などはもちろんのこと、自分の係や役割で、みんなの前でメモを見ないで相手に伝えるように話すなど事前に練習した成果を大いに発揮している子が多くて、すばらしかったです。

2つ目は、「話を聴く力」です。みんなの前に先生や友達が黙って立つと、少し時間は、かかりますが、集まっている子どもたちが話を聴こうと集中して、自然に静かになりました。とても素晴らしいです。話をする先生と子どもたちとの信頼関係がよくできているなあと思いました。また、みんなの前で緊張しながらも一生懸命に話す仲間がいて、それを支える仲間がいて、とてもやさしい気持ちをもった子が多い4年生だなあと感動しました。

3つ目は、「自分から挨拶をする力」です。バスの運転手さんや宮ヶ瀬ダムの「水とエネルギー館」の人たちに「上飯田小学校です。よろしくお願ひします！」と元気よく、挨拶をすることが一人一人できていました。スローガンの「誰とでも…」という点で、これも合格です。

このように多くの笑顔の源には、子どもたち本人の努力と、仲間の優しさと、ご家庭の励ましの支えがあったからこそだと感じました。1人の笑顔は、まわりの人を笑顔にして、とても幸せな気持ちになります。是非こうした笑顔を普段の生活でも続けていきたいなと私は子どもたちから教わりました。